





# 新型コロナワクチンの副反応について

久留米市では、新型コロナワクチンの住民接種を実施しています。ワクチンを接種すると接種した部分への痛みや発熱などの副反応が現れることがあります。この副反応について、ワクチン接種を受けた医療従事者や学生、市職員にアンケートを行いました。

これから接種を受ける方は参考にしてください。詳細な副反応の集計結果はホームページに掲載しています。

## 主な副反応の発現率(市職員アンケートより)

主な副反応	接種部位の痛み	だるさ、倦怠感	発熱(37.5℃以上)	頭痛
				
1回目接種	74.1%	21.9%	4.9%	8.1%
2回目接種	72.3%	60.4%	57.2%	33.4%

## 副反応で仕事を休んだ人の割合(市職員アンケートより)

1回目接種で休んだ日数	割合(%)	2回目接種で休んだ日数	割合(%)
1日間	5.3%	1日間	36.4%
2日間	1.1%	2日間	10.6%
		3日間	0.2%
		4日間以上	0.2%

📌 接種部位の痛みは1回目・2回目であり変わらないが、だるさや発熱などの全身反応の発現率は2回目で大きく増加する。体調不良で仕事を休む人も2回目は増えるが、ほとんどは2日以内に回復する。

## ワクチンを受けた感想(20歳代、30歳代 市職員アンケートより)

2回目の接種のあと発熱して、自分は大丈夫かもしれないと思っていただけに、びっくりした。(20歳代)

副反応はきつかったが、コロナへの不安が軽減した。日々緊張して精神的に辛かったのがだいぶましになり、働きやすくなった。(30歳代)

先に打った友人から副反応の症状や対応方法を聞いていたため、不安はなかった。水分を多くとる、2回目接種後に皮膚が敏感になり荒れやすくなるので、あらかじめ寝具を清潔なものに取り換えておくなどの対策をした。(20歳代)

職場内で、同性別・同年代でも副作用にはかなりの差があった。接種の際は念のため休みが取れるような職場環境づくりが必要だと思う。(30歳代)